

平成23年度いわて市町村行財政コンサルティング 診断調書（データ編）

市町村名 **奥州市**

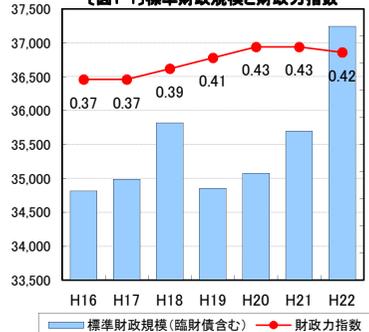
【普通会計の状況】

【表1】 財政力・歳入構造の自立度・安定度（⇒財政的な基礎体力はどうなっているか）

（単位：百万円、%）

項目	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	県平均(H22)	H22年度の状況		
									順位	改善又は悪化の傾向(H16比)	
標準財政規模(臨財債含む)	34,814	34,984	35,819	34,852	35,073	35,694	37,244		2.430	↑	
財政力指数	0.37	0.37	0.39	0.41	0.43	0.43	0.42	0.34	0.05	↑	
自主財源比率	34.2	44.8	32.6	35.3	35.4	30.0	29.0	26.7	▲5.2	↓	
地方税	地方税額	11,452	11,687	11,697	13,278	13,461	12,509	12,270		818	↑
	地方税の歳入割合	20.6	17.2	18.5	24.2	24.3	21.7	20.9	16.7	▲0.2	↑
	市町村税の徴収率	93.0	93.4	93.3	93.9	93.7	93.1	92.8	91.6	-0.2	↓
	国保税の徴収率	80.3	78.7	77.6	77.2	73.7	72.5	73.1	69.2	-7.2	↓
交付税	地方交付税額(臨財債含む)	22,009	21,907	22,235	19,813	21,263	22,216	25,460		3,451	↑
	交付税依存度	39.7	32.3	35.2	36.0	38.4	38.6	43.3	43.9	▲3.6	↓

【図1-1】標準財政規模と財政力指数



【図1-2】地方税額・徴収率と自主財源比率



【図1-3】地方交付税額と交付税依存度

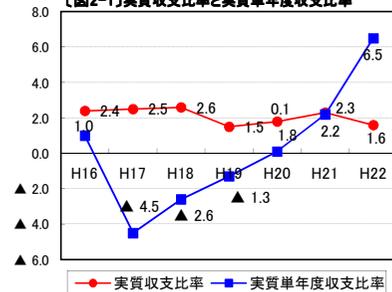


【表2】 収支と基金残高（⇒基金の取崩しに頼る財政運営となっていないか。実質単年度収支の3年連続赤字は要注意）

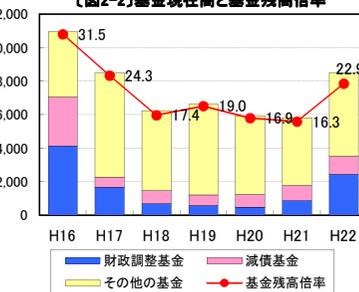
実質収支比率	2.4	2.5	2.6	1.5	1.8	2.3	1.6	4.2	▲0.8	↓	
実質単年度収支比率	1.0	▲4.5	▲2.6	▲1.3	0.1	2.2	6.5	5.1	5.5	↑	
基金	基金現在高	10,957	8,497	6,238	6,631	5,934	5,818	8,519		▲2,438	↓
	うち財政調整基金	4,131	1,678	702	577	481	867	2,434		▲1,697	↓
	うち減債基金	2,927	600	771	638	758	900	1,091		▲1,836	↓
	基金残高倍率	31.5	24.3	17.4	19.0	16.9	16.3	22.9	38.2	▲8.6	↓
連結実質赤字比率					-	0.00	0.00				
一借限度額(普通会計)	7,503	7,253	6,803	5,000	5,000	5,000	5,000		▲2,503	↑	
一借限度額倍率	21.6	20.7	19.0	14.3	14.3	14.0	13.4	17.0	▲8.2	↑	

※分母となる標準財政規模には、臨時財政対策債発行可能額分を加算している。(以下の比率において同じ。)

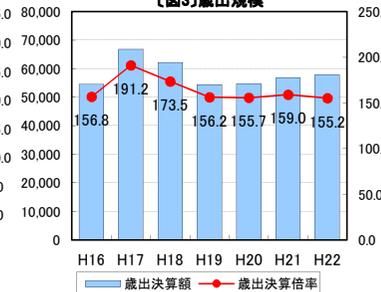
【図2-1】実質収支比率と実質単年度収支比率



【図2-2】基金現在高と基金残高倍率



【図3】歳出規模



【表3】 歳出規模の適正度（⇒実質単年度収支が赤字の場合、身の丈にあった歳出規模となっているか）

歳出決算額	54,596	66,878	62,162	54,443	54,614	56,741	57,788		3,192	↑
歳出決算倍率	156.8	191.2	173.5	156.2	155.7	159.0	155.2	158.2	▲1.6	↑

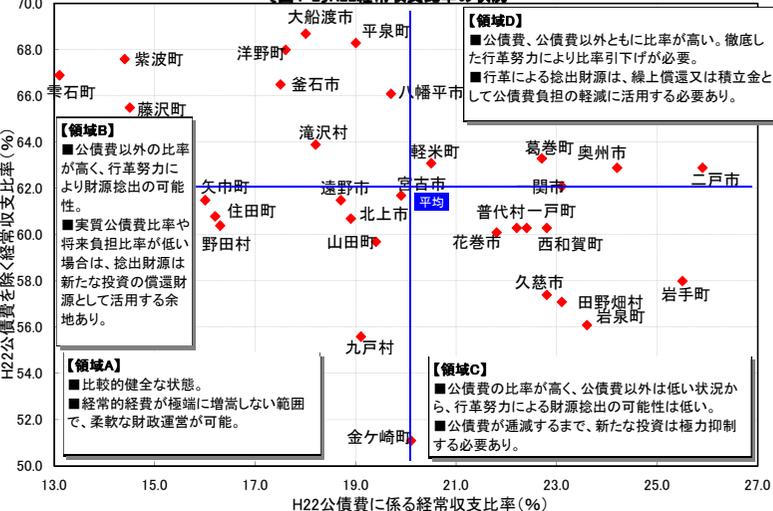
【表4】 財政構造の弾力性（⇒どの経常的経費の割合が高いか。義務的、経常的経費により財政が硬直化していないか）

経常収支比率	88.1	89.6	90.8	91.0	94.3	91.6	87.2	82.1	▲0.9	↑	
性質別内訳	人件費の比率	26.4	25.7	24.4	23.8	23.3	22.5	19.6	22.6	▲6.8	↑
	物件費の比率	11.6	12.1	10.8	10.9	11.2	11.2	10.0	11.2	▲1.6	↑
	維持補修費の比率	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.3	1.5	1.6	▲0.7	↓
	扶助費の比率	5.1	5.3	6.7	6.5	6.6	6.9	7.1	5.5	▲2.0	↓
	補助費等の比率	12.7	12.8	13.5	13.6	13.0	12.7	11.4	11.5	▲1.3	↑
	公債費の比率	23.4	23.2	23.8	24.9	24.9	23.7	24.2	20.0	0.8	↓
繰出金の比率	8.1	9.7	10.5	10.2	14.3	13.4	13.2	9.4	5.1	↓	
経常収支比率(公債費除き)	64.7	66.4	67.0	66.1	69.4	67.9	62.9	62.1	▲1.8	↑	

【図4-1】経常収支比率とその性質別内訳



【図4-2】H22経常収支比率の状況



市町村名 **奥州市**

【表5】人件費と公債費の適正度 (⇒財政収支の最大要因である人件費、公債費の状況はどうか) (単位: 百万円、%)

項目	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	県平均 (H22)	順位	H22年度の状況 改善又は悪化の 傾向 (H16比)
	職員数	1,521	1,430	1,386	1,345	1,301	1,274			
うち普通会計関係	1,085	1,014	977	952	921	911	885			▲ 200 ↑
うち企業会計等会計	436	416	409	393	380	363	362			▲ 74 ↑
人口千人当たり職員数	11.6	10.9	10.7	10.4	10.2	10.0	9.9			▲ 1.7 ↓
ラスバイレ指数 (給与水準)	94.4	96.1	97.4	97.6	97.4	98.3	98.1	94.0		▲ 3.9 ↓
公債費負担比率	20.5	16.1	20.7	22.6	22.1	21.3	21.8	17.1		▲ 1.3 ↓
実質公債費比率 (3ヵ年平均)			20.0	20.0	20.7	21.8	19.9	14.5		▲ 0.1 ↑

※職員数・ラスバイレ指数は(n+1)年度4月1日現在。 ※実質公債費比率は(n+1)年度の値

【表6】投資的経費の状況 (⇒社会資本整備のための投資的経費の状況(歳出決算シェア)はどうか)

歳出に占める普通建設事業費の割合	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	県平均 (H22)	順位	H22年度の状況 改善又は悪化の 傾向 (H16比)
うち単独事業	12.5	14.3	8.9	10.6	9.4	11.5	9.1	17.1		▲ 3.4 ↓
	9.7	12.0	6.4	6.0	6.6	8.3	6.0	8.0		▲ 3.7 ↓

【表7】プライマリーバランスと地方債残高の状況 (⇒プライマリーバランスの黒字が確保されているか、結果として地方債残高はどうか)

元金償還額 (臨財債を含む)	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	県平均 (H22)	順位	H22年度の状況 改善又は悪化の 傾向 (H16比)
地方債発行額 (臨財債を含む)	6,834	6,900	7,316	7,931	7,636	7,498	8,287			▲ 1,453 ↓
地方債残高 (臨財債を含む)	6,262	6,697	11,233	4,893	5,075	5,572	6,231			▲ 31 ↑
プライマリーバランス (発行額/償還額)	84,128	83,924	87,776	84,738	82,176	80,251	78,195			▲ 5,933 ↑
地方債現在高倍率	91.6	97.1	153.5	61.7	66.5	74.3	75.2	97.0		▲ 16.4 ↑
地方債現在高倍率	241.6	239.9	245.1	243.1	234.3	224.8	210.0	176.3		▲ 31.6 ↑

※地方債残高にはNNT債を含まないので、前年度との差引きが合わない場合がある。

【表8】将来の財政負担の状況 (⇒将来的な財政負担の状況(ストック)はどうか)

①地方債残高	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	県平均 (H22)	順位	H22年度の状況 改善又は悪化の 傾向 (H16比)
②債務負担行為支出予定額	84,128	83,924	87,776	84,738	82,176	80,251	78,195			▲ 5,933 ↑
③基金現在高	5,170	6,331	5,542	7,978	6,798	5,826	6,830			▲ 1,660 ↓
将来財政負担額 (①+②-③)	10,957	8,497	6,238	6,631	5,934	5,818	8,519			▲ 2,438 ↓
将来財政負担比率	78,341	81,757	87,080	86,085	83,040	80,259	76,505			▲ 1,836 ↑
将来負担比率	225.0	233.7	243.1	247.0	236.8	224.9	205.4	158.4		▲ 19.6 ↑
					197.2	205.9	179.2	98.8		

【国保等事業会計の状況】 ※国保(事業勘定)、国保(直診勘定)、老人保健、介護保険、介護サービスの特別会計

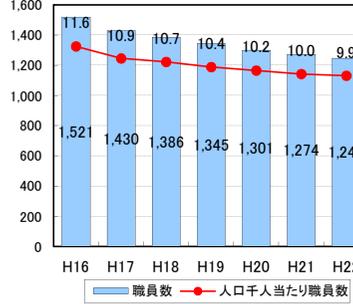
【表9】収支の状況

全会計の実質収支合計額	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	県平均 (H22)	順位	H22年度の状況 改善又は悪化の 傾向 (H16比)
上記の目標規模に対する割合	1.8	1.9	9.8	0.2	0.0	0.1	1.4	1.6		▲ 0.4 ↑
国保(事業勘定)	520	433	298	116	61	▲ 4	69			▲ 451 ↓
国保(直診勘定)	18	73	56	5	29	28	341			▲ 323 ↑
老人保健	13	86	2,925	186	▲ 41	▲ 5	0			▲ 13 ↓
介護保険	51	55	208	17	35	21	111			▲ 60 ↑
介護サービス	10	11	16	▲ 5	▲ 98	▲ 13	11			▲ 1 ↑

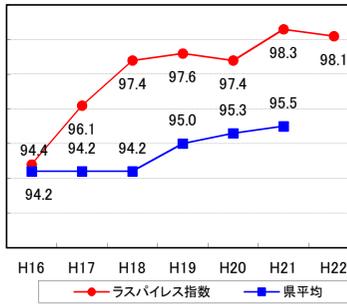
【表10】一般会計等からの繰入金の状況

全会計の繰入金合計額	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	県平均 (H22)	順位	H22年度の状況 改善又は悪化の 傾向 (H16比)
上記の目標規模に対する割合	8.4	9.1	9.6	9.5	7.2	6.9	8.5	5.2		▲ 0.1 ↓
国保(事業勘定)	790	829	880	884	624	610	1,130			▲ 340 ↓
国保(直診勘定)	238	255	349	441	460	382	460			▲ 222 ↓
老人保健	786	870	868	1,202	50	36	5			▲ 781 ↑
介護保険	1,024	1,114	1,209	1,205	1,274	1,327	1,468			▲ 444 ↓
介護サービス	100	109	140	86	102	92	105			▲ 5 ↓

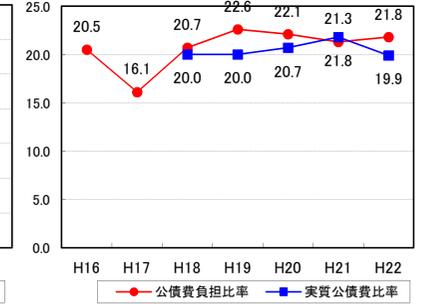
【図5-1】職員数と人口千人当たり職員数



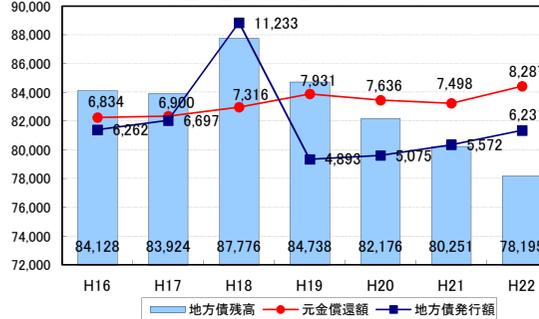
【図5-2】ラスバイレ指数



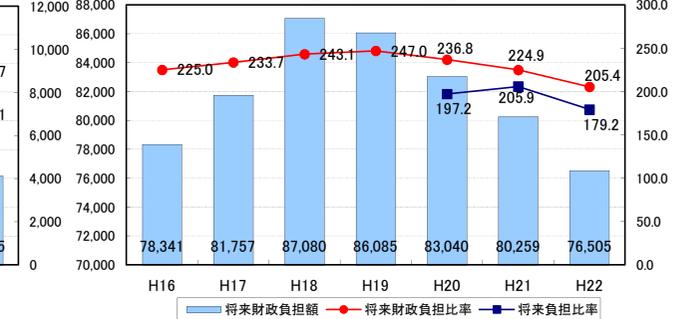
【図5-3】公債費負担比率と実質公債費比率



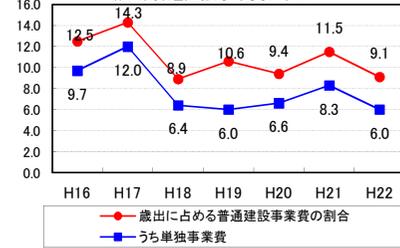
【図7】地方債残高とプライマリーバランス



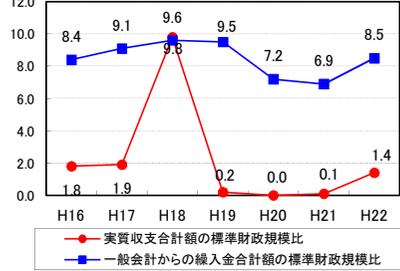
【図8】将来の財政負担



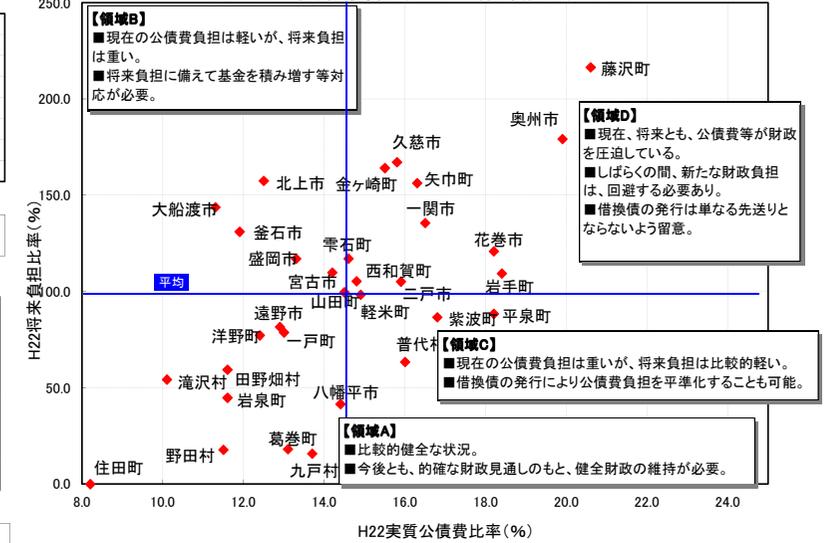
【図6】普通建設事業費の状況



【図9・10】事業会計の実質収支と繰入金



【図5・8】H22実質公債費比率及びH22将来負担比率の状況



市町村名 **奥州市**

【公営企業の状況】

【表11】収支の状況 ※法適用は純損益、法非適用は実質収支 (単位:百万円、%)

項目	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	県平均(H22)	H22年度の状況	
									順位	改善又は悪化の傾向(H16比)
全会計の収支合計額	▲279	3	▲135	▲178	▲277	▲2	82		361	↑
上記の標尺規模に対する割合	▲0.8	0.0	▲0.4	▲0.5	▲0.8	0.0	0.2	0.5	1.0	↑
法適用企業	上水道	189	186	137	146	41	57	52	▲137	↓
	病院(総合水沢)	▲355	▲518	▲431	▲576	▲388	▲158	1	356	↑
	病院(国保まごころ)	39	31	18	1	6	1	9	▲30	↓
	観光(休養宿泊)	▲1	17	6	▲5	▲6	▲34	▲50	▲49	↓
法非適用企業	簡易水道	46	71	49	47	75	122	83	37	↑
	介護サービス(老人短期入所施設)	32	15	10	10	8	8	8	▲41	↓
	介護サービス(老人デイサービスセンター)	19	11	11	5	▲2	3	▲2	▲21	↓
	介護サービス(訪問看護ステーション)	▲3	▲7	▲6	▲8	▲14	▲5	▲4	▲1	↓
	公共下水道	9	31	1	0	1	1	1	▲8	↓
	特定環境下水道	3	10	7	0	0	0	0	▲3	↓
	農業集落排水	17	12	4	1	1	1	1	▲16	↓
	特定地域生活排水	8	6	16	1	0	1	1	▲7	↓

【表12】資金不足の状況

資金不足比率	総合水沢病院事業								
-	-	-	-	-	12.2	6.6	-	-	-

【表13】一般会計等からの繰入金の状況

項目	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	県平均(H22)	H22年度の状況	
									順位	改善又は悪化の傾向(H16比)
全会計の繰入金合計額	3362	3588	3752	3783	4043	3806	4030		668	↓
上記の標尺規模に対する割合	9.7	10.3	10.5	10.9	11.5	10.7	10.8	7.2	1.1	↓
うち基準外繰入金合計額	1651	1640	1730	1605	675	911	946		▲705	↑
法適用企業	上水道	28	39	48	28	42	31	31	3	↓
	病院(総合水沢)	100	110	97	101	133	344	448	348	↓
	病院(国保まごころ)	0	0	0	0	0	0	0	0	↓
	観光(休養宿泊)	60	73	0	0	25	0	9	▲51	↑
法非適用企業	簡易水道	149	193	161	169	282	209	189	40	↓
	介護サービス(老人短期入所施設)	0	0	0	12	12	12	10	10	↓
	介護サービス(老人デイサービスセンター)	0	0	0	12	12	12	10	10	↓
	介護サービス(訪問看護ステーション)	0	0	0	1	1	1	0	0	↓
	公共下水道	554	574	563	15	21	141	95	▲459	↑
	特定環境下水道	48	65	60	10	15	20	13	▲35	↑
	農業集落排水	700	673	668	89	93	112	98	▲602	↑
	特定地域生活排水	1	2	7	10	38	28	41	40	↓

【一部事務組合等への財政支援等の状況】 【表14】一部事務組合等への負担金、補助金の状況

補助金、負担金計	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	県平均(H22)	改善又は悪化の傾向(H16比)	
補助金	2,935	2,971	3,656	3,410	3,361	3,212	3,466		531	↓
負担金計	0	0	0	0	0	0	0		0	↓

※「負担金計」にはH22年度決算において「貸付残高」のある組合等を掲げている → 該当無し

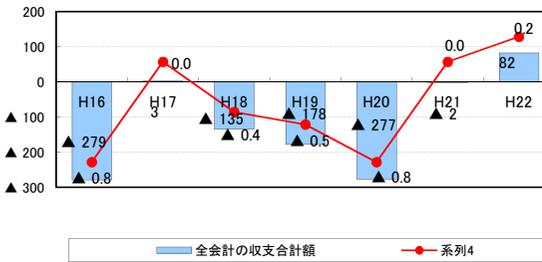
【土地開発公社への財政支援等の状況】 【表15】土地開発公社への補助金、貸付金、債務保証残高の状況

項目	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	県平均(H22)	改善又は悪化の傾向(H16比)	
補助金	0	0	0	0	0	0	63		63	↓
貸付金	0	765	765	0	0	0	0		0	↓
債務保証残高	8416	9784	9784	10,068	10,008	10,259	9,602		1,186	↓

【第三セクターへの財政支援の状況】 【表16】第三セクターへの補助金、貸付金、損失補償残高の状況

項目	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	県平均(H22)	改善又は悪化の傾向(H16比)	
補助金	0	208	208	166	103	80	78		78	↓
貸付金	0	0	0	0	0	0	0		0	↓
損失補償残高	0	0	0	0	0	0	0		0	↓

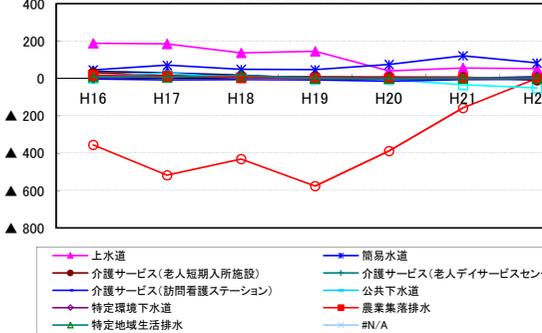
【図11-1】公営企業の収支の状況



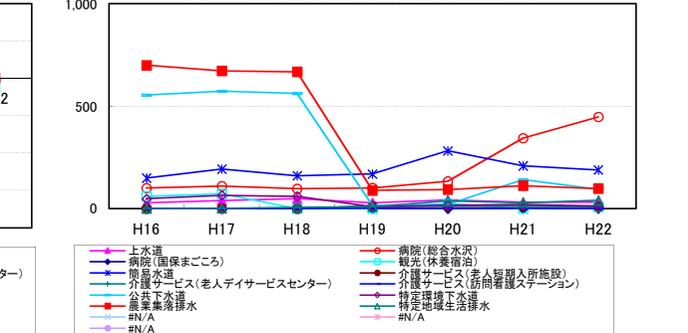
【図13-1】公営企業の繰入金の状況



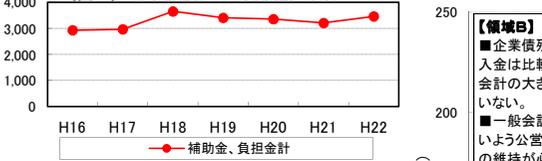
【図11-2】公営企業の収支の状況(会計別)



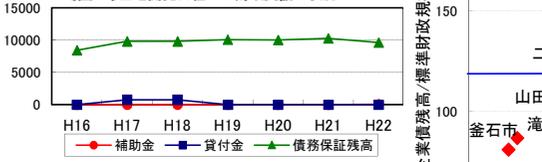
【図13-2】公営企業の基準外繰入金の状況(会計別)



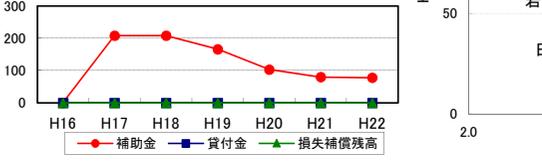
【図14】一部事務組合への財政支援の状況



【図15】土地開発公社への財政支援の状況



【図16】第三セクターへの財政支援の状況



【図13-3】H22企業債残高とH22公営企業の繰入金の状況

